

! "#\$!%&'()*' +,-./ 012345 678



方《入相告ぐる頃》大正7年（1918）京都市立芸術大学芸術資料館蔵

展覧会の趣旨

吉川観方といえば、今、絵画や染織などの美術工芸品を収集したことで知られています。およそ30,000点の品を、京都府立総合資料館に収められています。また、画としてられた品をし、としてした、ののいすのでした。の300とな展、観方の20をして、そのをてしよといのです。

吉川観方と

吉川観方は、画をし、絵画芸術で画をました。展でをたし、な画のます、のや美術品の収集し、画や、などのや収集品の展をよなました。観方した会そので、でレをいた会を画たしてお、の画のています。

展

この展覧会で、観方やのた画たの品を展し、これまでれ会のなた観方と画とのしなら、そのをます。また、画》をとす観方レの品せて展します。画で、レターで、そして者でた観方、深い解と憧憬のを持て守えよとしたの魅をて見つ直す会となれば幸いです。

)*' 9:;<8 & ' =:>?8

+,-.@A BC DEFGHI JK&LM NO6P -.QRSTUV WCDXY Z[



